

**地域イノベーション戦略推進地域
神奈川国際ライフサイエンス実用化開発拠点
(国際競争力強化地域) 終了評価結果**

(1) 地域イノベーション戦略の概要

- **イノベーション推進協議会**：神奈川ライフサイエンス実用化開発拠点推進協議会
- **総合調整機関**：地方独立行政法人神奈川県立産業技術総合研究所
- **協議会構成機関**：

【産】：一般社団法人神奈川県経営者協会、神奈川県中小企業団体中央会、【学】：学校法人北里研究所北里大学、国立大学法人横浜国立大学、公立大学法人横浜市立大学、公益財団法人実験動物中央研究所、【官】：国立研究開発法人理化学研究所横浜事業所、神奈川県、横浜市、川崎市、公益財団法人木原記念横浜生命科学振興財団、公益財団法人川崎市産業振興財団、地方独立行政法人神奈川県立産業技術総合研究所、【金】：株式会社横浜銀行

- **地域イノベーション戦略のテーマ**：

革新的な医薬品・医療機器の開発や健康関連産業を創出するライフサイエンス分野の実用化開発拠点の形成

- **地域イノベーション戦略の概要**：

神奈川の持つ全国トップクラスの知的資源と産業の集積を生かし、国際競争力を生み出す科学技術基盤の構築と技術シーズの実用化展開、先端的研究開発をリードする人材の育成により、世界に通用する革新的な医薬品・医療機器の開発や新たな健康関連産業を創出するライフサイエンス分野の実用化開発拠点を形成し、我が国の国際競争力向上を図りながら、持続的な経済成長を牽引する。

(2) 総評（総合評価：A）

自治体や総合調整機関が主導的に地域の研究機関や大学をまとめ、ライフイノベーション創出の仕組みが整ってきている。また、実用化開発拠点としてライフサイエンス関連機関の集積が進んでいる。また、国際競争力強化地域として海外への成果・情報発信や技術・市場動向調査に基づく競争力強化に向けた取組も図られている。

今後は、特許により地域に資金が還流する仕組み作りや、本事業を活用したアントレプレナー教育などの取組に期待する。